



ひらたから



つどいの広場「すずかけっこ」は、月曜日から金曜日まで開館しています。
赤ちゃんから幼児まで様々な年代のお子様やお母さん達の交流の場となっ
ています。ぜひ、遊びに来てください。

第4回「平田の田園風景」写真コンテスト結果発表!

今回は、平田地区の自然の美しさや生活のひとコマを写した作品32点(14人)の応募がありました。1月21日(金)の審査会において、最優秀賞1点、優秀賞3点、入選

6点の入賞作品が選ばれました。2月11日(金・祝)の表彰式では、皆さんが、次はもっと良い写真を撮りたいと意気込みを語っておられました。



最優秀賞 「ガチャコンが行く」

小林 正治さん



優秀賞 「元気っ子」

平田 芳美さん



優秀賞 「田植の頃」

鈴木 栄子さん



優秀賞 「盛夏」

鳶津 貴志さん

入選

「新雪を踏みしめる」 谷 和之さん

「真夏の夕暮れ」 井上 紀和さん

「総舞」 小澤 守男さん

「藤の花の咲く頃」 高橋 康子さん

「春の装い」 曾我 一彦さん

「秋」 村井 稔さん

☆ 入賞作品は、平田コミュニティセンターロビーで展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

桃の節句フラワーアレンジメント講座

2月1日(火) 桃の節句にちなんで、「フラワーアレンジメントおひな様」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大のため急遽2部制にし、少人数での講座となりました。

今年は、雪も多くとても寒い冬でした。フラワーアレン

ジメントのお雛さん飾りを見て、早く暖かい春が訪れることを願いました。

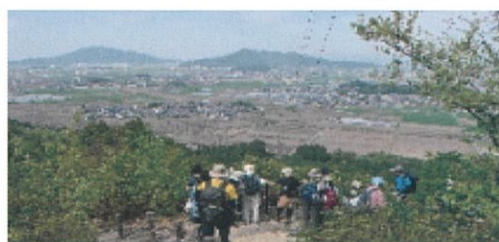
4月には、端午の節句にちなんだフラワーアレンジメント講座の企画を考えています。詳しい内容などが決まり次第お知らせいたします。



5 万葉ロマンの香漂う 雪野山を歩こう！



2022年
4月10日 日
9:00~14:00



集 合

雪野山歴史公園駐車場(東近江市中羽田町)

内 容

万葉ロマンあふれる雪野山を森林インストラクターの案内で歩いて、樹木や植物などについて学ぶハイキングです。春の一日、自然にあふれる雪野山を歩いてみませんか…?

参加費

大人3,000円/人 小学生1,000円/人

募集人数

15名(最少催行人数10名)

申込締切

先着順(4月1日締切)

対 象

小学生以上

**主催
申込・問合せ**

平田地区まちづくり協議会

TEL 0748-22-1950 FAX 0748-22-1950

MAIL hirata-co@e-omi.ne.jp

お知らせ

お問い合わせは平田コミュニティセンター (☎0748-22-1950) まで
地域子育て支援拠点 つどいの広場

「すずかけっこ」

☆ひな祭りの製作WEEK☆

日時 2月24日(木)～3月3日(木)

好きな時間に作っていただけるよう製作コーナーを設けています。
親子で楽しく製作を楽しんでください。

☆養護教諭のおはなし会☆

日時 3月4日(金) 10:30～11:30 6組(予約制)

☆みぞっちといっしょ☆

日時 3月9日(水) 10:30～ 6組(予約制)

絵本・パネルシアター等、みぞえさんと一緒に親子で楽しみましょう!!

☆ほっとの日☆(子育て相談日)

日時 3月18日(金) 11:00～12:00 6組(予約制)

子育てコンシェルジュがきて、手あそびをしてくださった後、子育て相談にのってくださいます。
子育て相談の事前予約も可能です。
申し込みの方は、広場にお問い合わせください。

☆人形劇場かにこぞう☆

日時 3月22日(火) 大ホール 10:30～11:30 15組(予約制)

※詳しくは、つどいの広場すずかけっこまで、お問い合わせください。

※予約制のイベントは定員になり次第締め切ります。

※イベント日の午前中は、ご予約いただいた方のみご利用できます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、急遽中止になる場合がございます。
ご了承ください。



2月に入って再び日本列島は寒波に見舞われ、日本海側はもとより滋賀県も北部はかなりの積雪となりました。しかし、数年来心配されていた琵琶湖の全層循環も年初の大雪の結果確認され、さらに鈴鹿山系をはじめ比良山などの山々の積雪も多く琵琶湖の水位も昨年末のように気にすることなく夏の渇水の心配も少なくなりました。

最近では気候観測が詳細になったことは良いのですが各方面からの短期的な予測は不安を煽っているようにも思えます。少し長いレンジで見れば自然の営みは多少のブレはあっても規則正しく移っています。

雪に覆われた樹々の小枝には新芽の膨らみが見られるだけでなく水仙をはじめパンジーなどの春の到来を促す花々が色づいてきました。雪の山や瓶割山に登り穏やかな春の日差しの中で比良山系、鈴鹿の峰々の冠雪を眺めるのはもうすぐ

です。

コロナはオミクロン株となり感染が広がり、まだまだ心配ではありますが私たちは対応を身に付けて身の回りの自然が春の到来を期待しているように心は弾んでいます。しばらく停滞していた地区の各種事業やまちづくり協議会の活動も役員の改正や事業の計画などすでに新しいに年度に向かって進んでいます。もう少し楽観的に考えては如何でしょうか。
(春待ち童子)